

個人投資家様向け 会社説明会資料

2024年3月12日

株式会社太陽工機

(証券コード：6164)

01— 太陽工機について

02— 当社の強み

03— 業績について

04— 将来に向けた取り組み

05— 株主還元

01 — 太陽工機について

About
US

会社名	株式会社太陽工機 (TAIYO KOKI CO., LTD.) 東証スタンダード市場上場 (証券コード：6164) (決算期：12月)
本社所在地	本社工場：新潟県長岡市 国内拠点：埼玉・愛知・大阪 / 海外拠点：アメリカ・ドイツ・中国
代表者	渡辺 剛
事業内容	研削盤 (工作機械の一種) 専門の製造メーカー
親会社	DMG森精機株式会社



経営理念

私たちは、先進的技術を駆使した製品を創造し、
精密加工を通して世界の製造業の発展に貢献する

経営方針

- 1.内外の法令を遵守し、フェアな企業活動に徹する
- 2.イノベーションを追求し、最先端の技術力と提案力で社会に貢献する
- 3.企業価値を高め、顧客、従業員、株主、その他のステークホルダーに報いる



設立

1986 年



社員数

289 名

(2024年1月1日時点)



売上高

102 億円

(2023年度実績)



当期純利益

4.1 億円

(2023年度実績)



年間販売台数

204 台

(2023年度実績)



自己資本比率

79.3 %

(2023年度実績)



DMG森精機グループ
全体従業員数

約12,000 名

(2022年度実績)

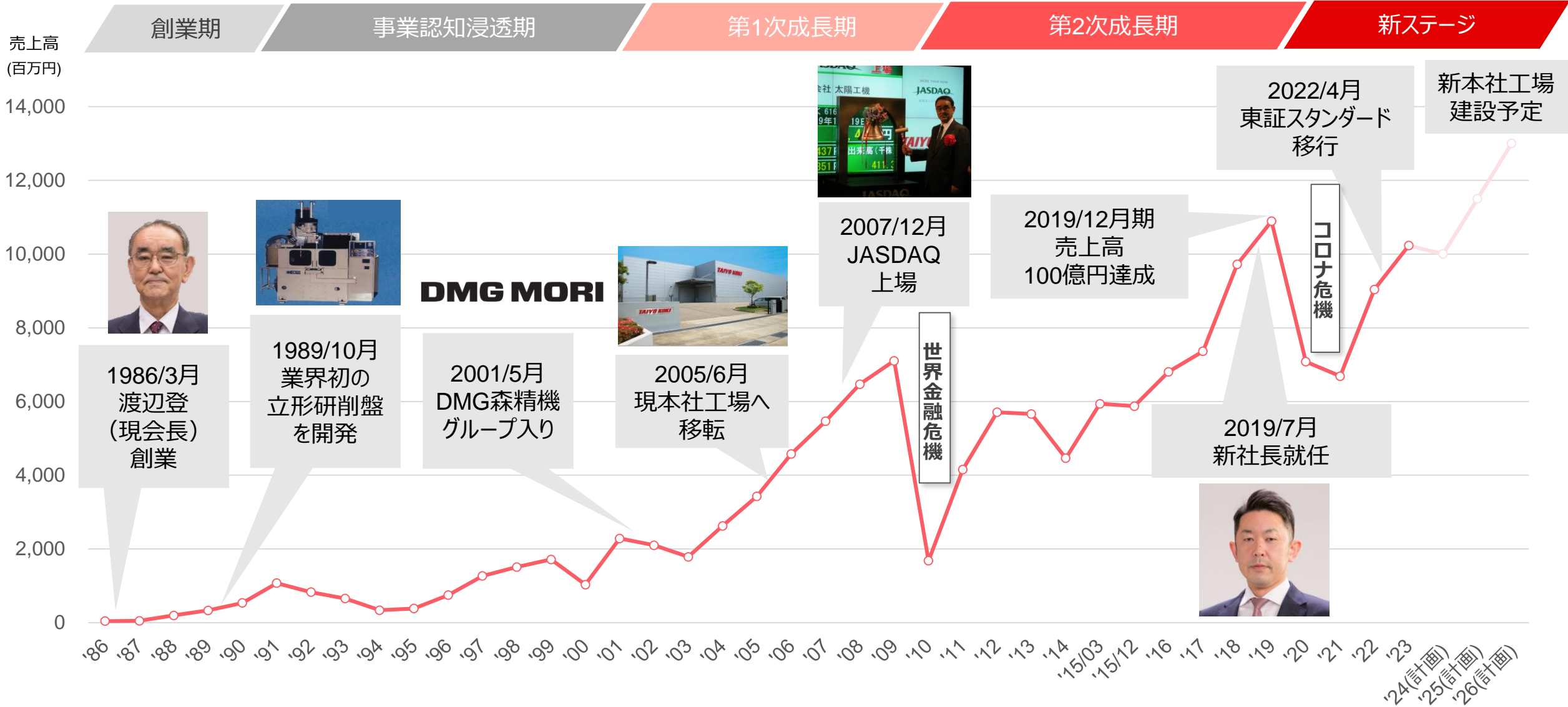


DMG森精機グループ
全体売上高

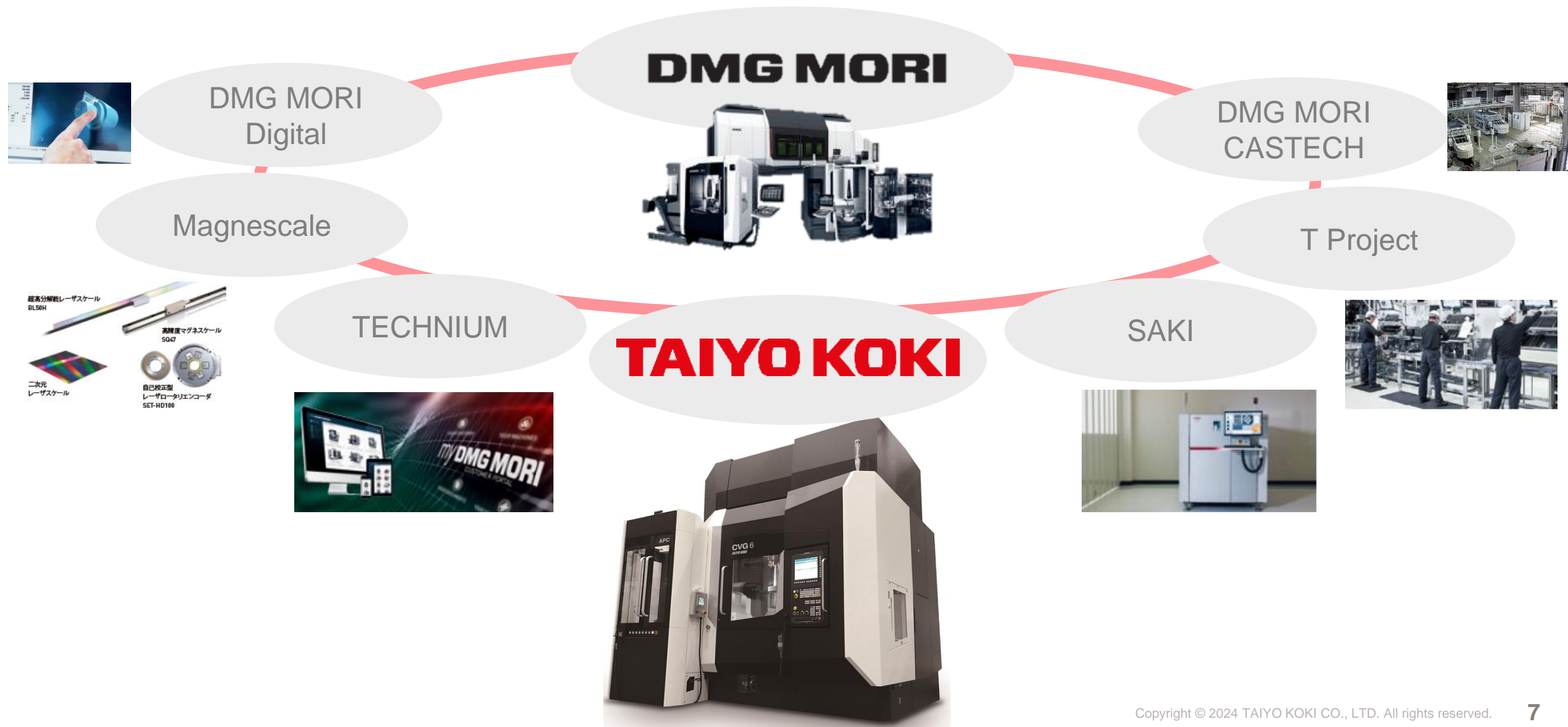
5,395 億円

(2023年度実績)

設立38年目の業界内では比較的若く、現在本社工場を移転する新ステージへ突入



グループの一員として部品加工の最終仕上げ工程を担う研削盤を開発・製造・販売



DMG MORI
Digital

DMG MORI

DMG MORI
CASTECH

Magnescale

T Project

TECHNIUM

TAIYO KOKI

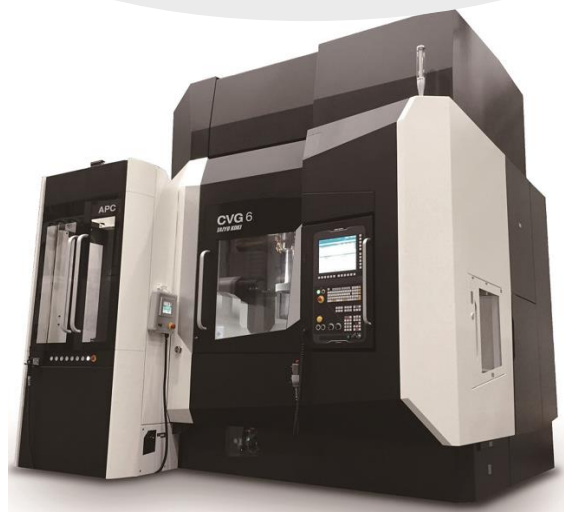
SAKI

超高分解能レーザースケール
BL50H

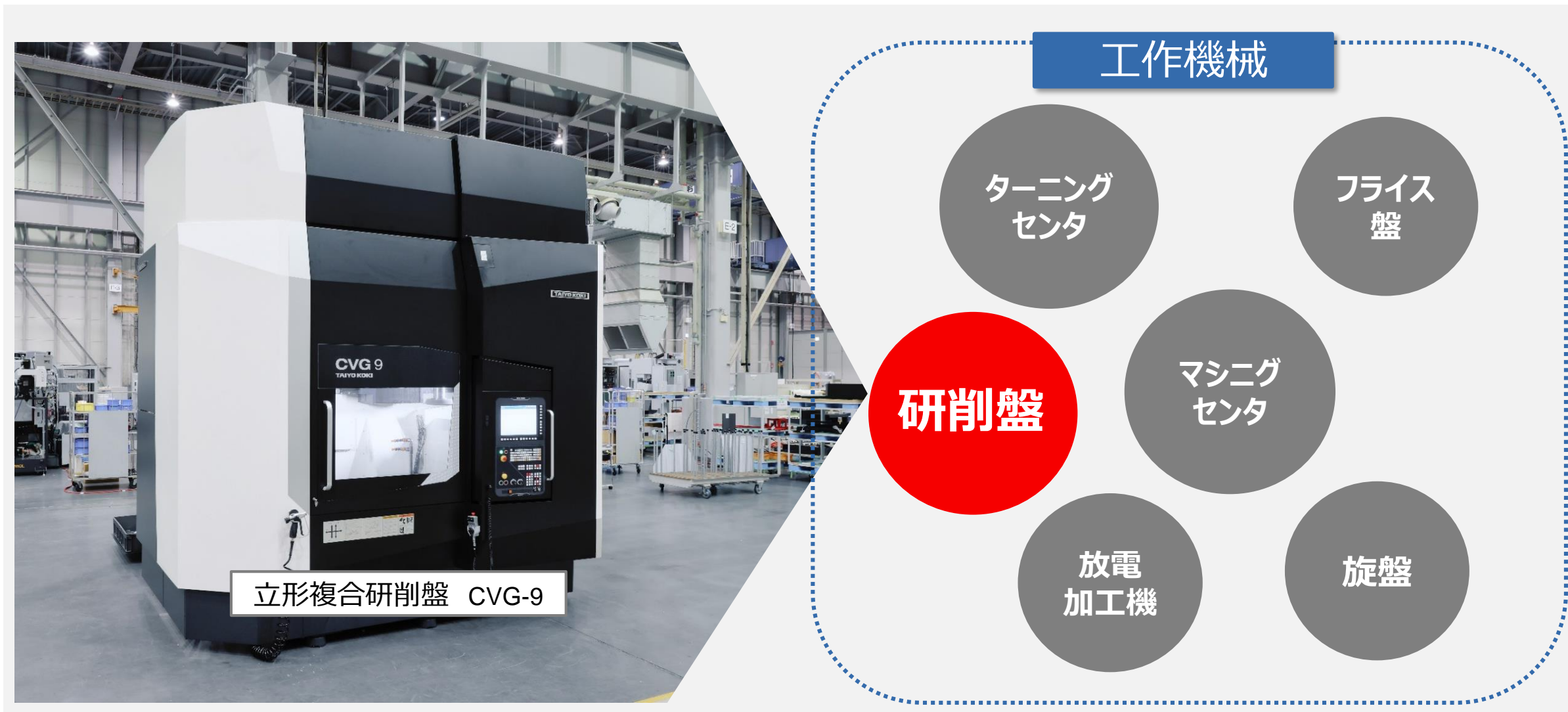
高精度マグネスケール
SQ47

二次元
レーザースケール

自己校正型
レーザータリエンコーダ
SET-HD100



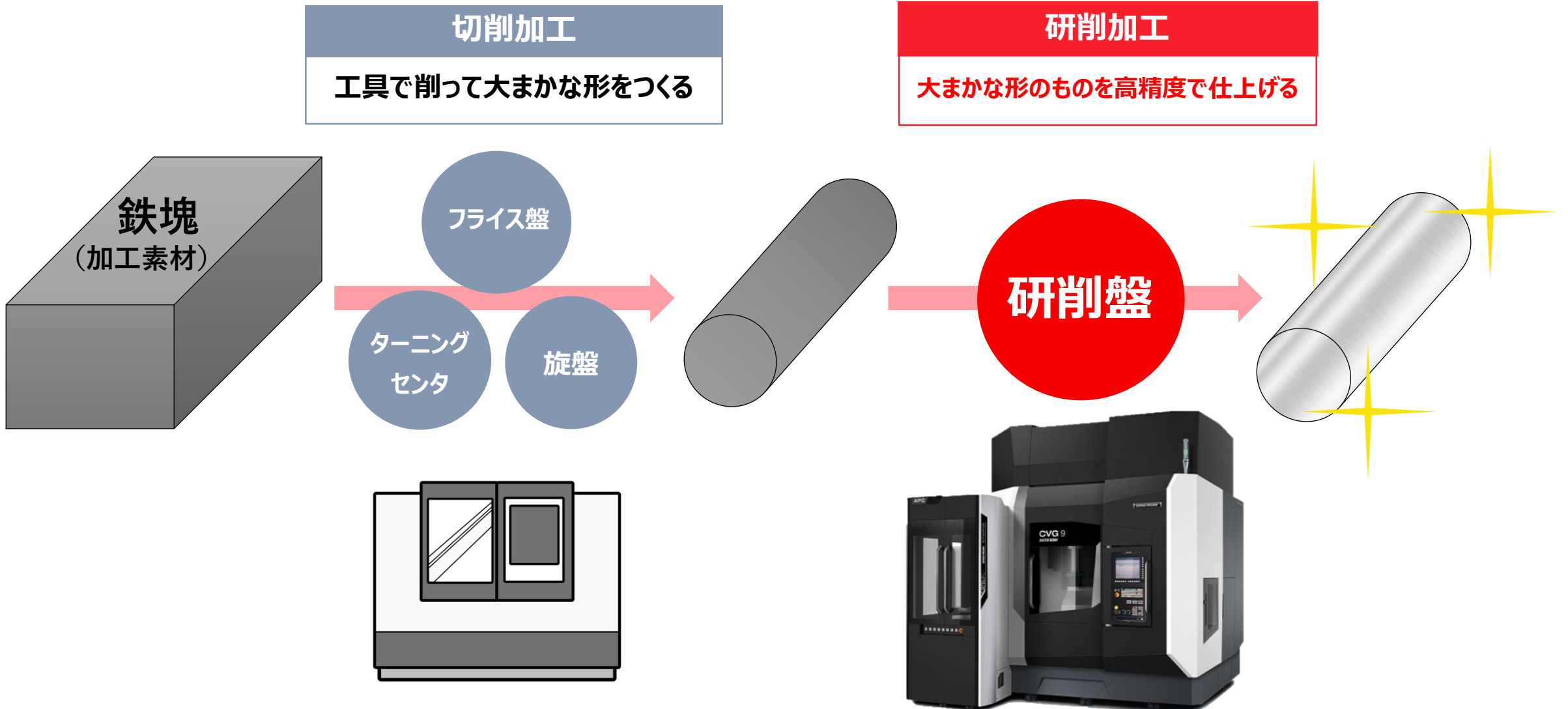
研削盤は「工作機械」の一種



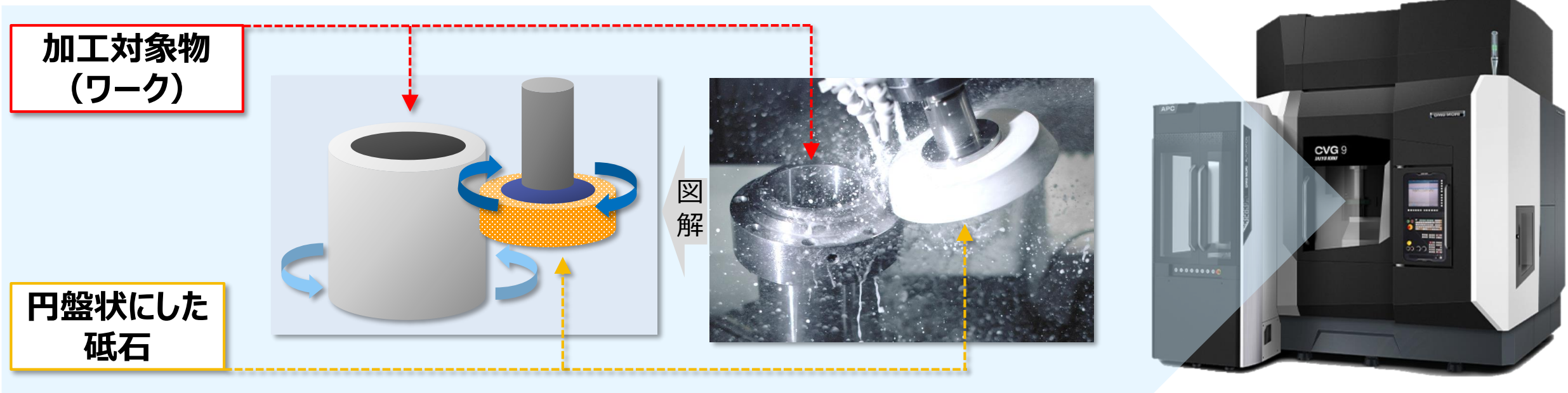
素材を切ったり、削ったり、穴をあけたりすることで部品をかたちづくる機械 マザーマシンと呼ばれるものづくりの原点



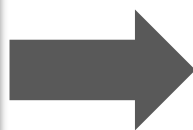
素材から大まかな形をつくった後の仕上げ工程で使用し、精密機械の部品で必要



工作機械の中でも、最も高い精度が要求される分野



加工精度は
真円度 1マイクロメートル
(1000分の1ミリメートル)



高精度・高品質の
部品加工に不可欠

Three icons are shown below the text: a black car, a white wind turbine, and a black industrial robot arm.

1台ずつお客様ごとのオーダーメイドの機械をご提供



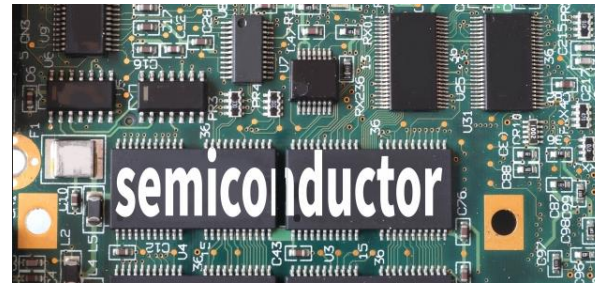
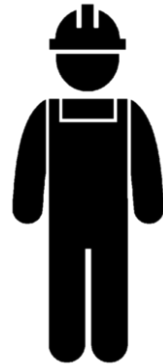
立形をメインとした研削盤を幅広い業界のお客様へご提供

立形複合研削盤 CVG-9
(大型タイプ)

お客様業界



4.0m



当社の製品群は立形研削盤が主力、受注高の約85%を占める

横形研削盤

4.8%

約5億円



その他研削盤

0.9%

約1億円

立形研削盤

86.0%

約82億円



当社受注高
(2023年度)

約96億円

(機械本体+サービス・パーツ)

円筒研削盤

8.3%

約8億円



※ 比率は受注金額で算出

次世代技術を取り入れた、大型立形複合研削盤を開発中

立形
IGV-7N



立形
NVG IIシリーズ



立形中・大型
NVGHシリーズ



立形中・大型
CVGシリーズ



立形
IGV-7NA



立形小型
IGVシリーズ IGV-2CL



立形汎用
Vertical Mate®シリーズ



立形小型
PGVシリーズ
USGシリーズ



横形円筒
CGXシリーズ



横形内面
IGTシリーズ



ネジ研削盤
TGNシリーズ



横形円筒
CGNシリーズ



横形内面
IGHシリーズ



横形円筒複合
MGXシリーズ



太陽工機NEW
フラグシップ
モデル
を開発中

1986

2000

2010

2015

2022

2024

02 — 当社の強み

Our Strengths

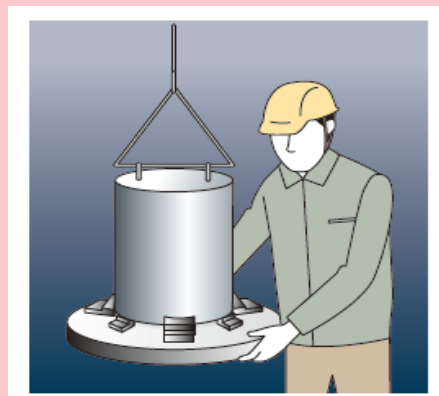
横形が常識だった中、発想の転換で立形を開発
作業性・安定性の向上と、より高い精度の加工を実現

横形研削盤



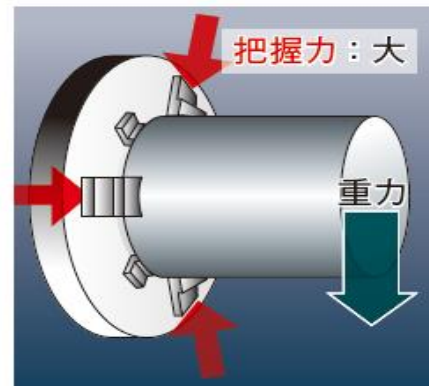
不安定

立形研削盤



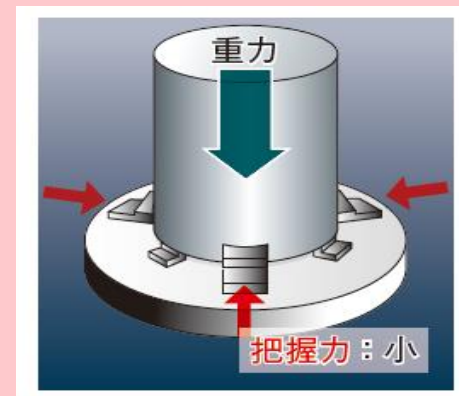
安定

横形研削盤



重力で歪む

立形研削盤



歪まない

業界初の立形研削盤の開発に成功したパイオニア。JIS規格にも登録

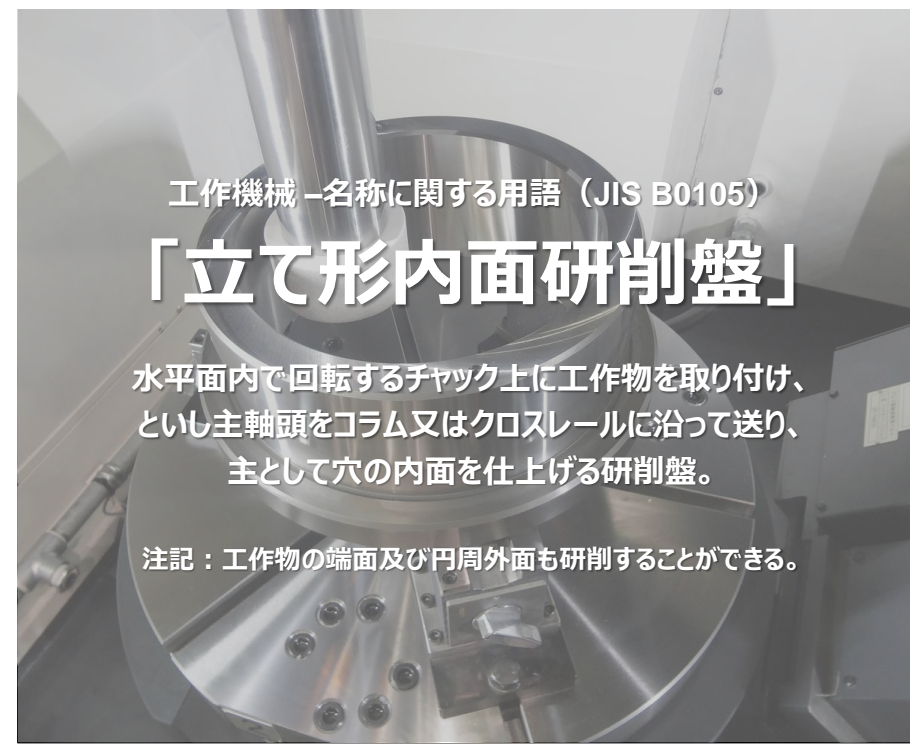
業界初開発

JIS規格にカテゴリー確立

(2012年5月)



立形研削盤初号機



工作機械 名称に関する用語 (JIS B0105)

「立て形内面研削盤」

水平面内で回転するチャック上に工作物を取り付け、
といし主軸頭をコラム又はクロスレールに沿って送り、
主として穴の内面を仕上げる研削盤。

注記：工作物の端面及び円周外面も研削することができる。



0.07 mm



0.01 mm



0.001 mm



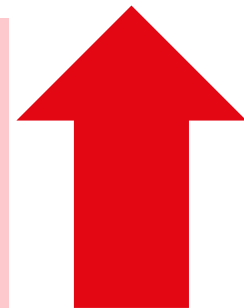
1mm

当社製品の需要は今後も拡大を予想

自動車



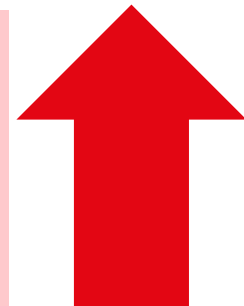
EV化による、トランスミッション部品に代わり
モーター部品やバッテリー・減速機の加工需要増



軸受



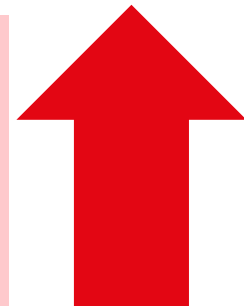
クリーンエネルギー需要増による、
洋上風力発電装置の主軸の加工需要増



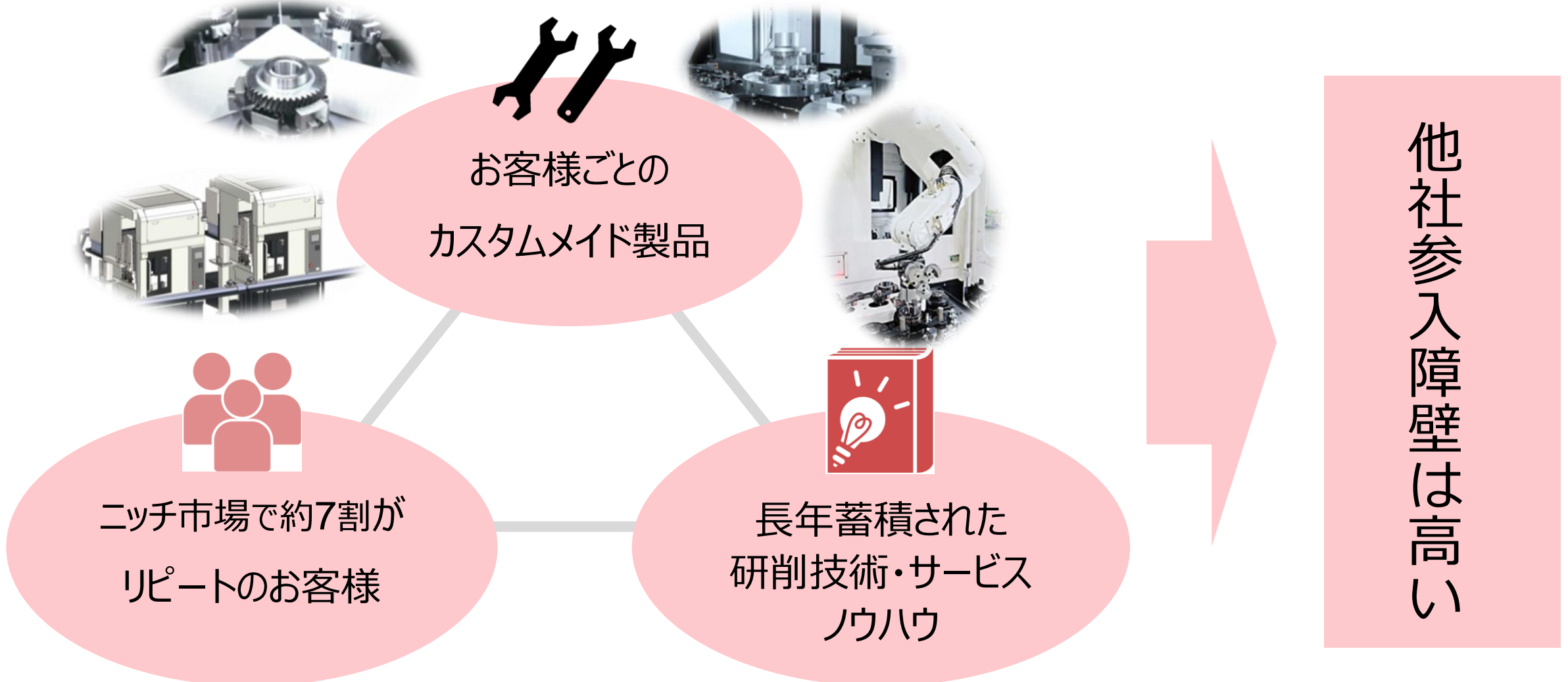
航空・船舶



世界的な航空機・船舶増産による、
大型部品加工需要増



ニッチな研削盤市場において、お客様ごとの細かなニーズに対応した専用機
納品後のアフターフォローを含め、お客様の満足度とリピート率は高い

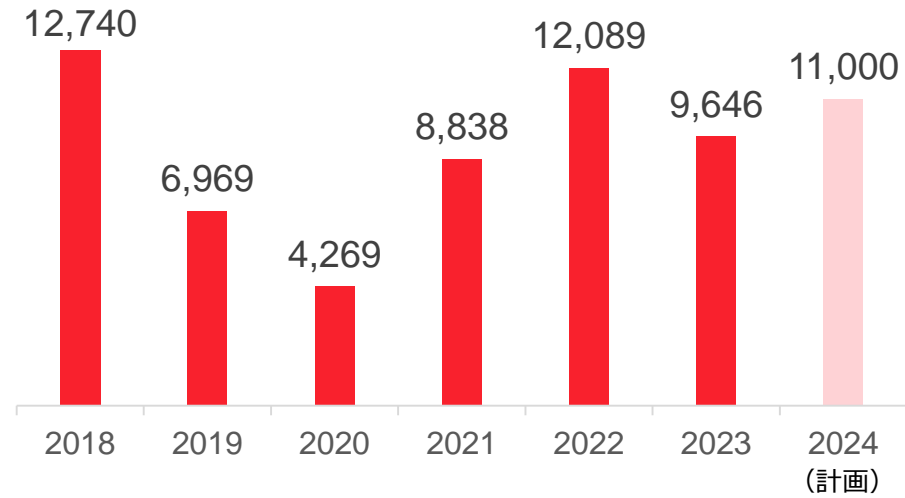


03 — 業績について

Financial Results

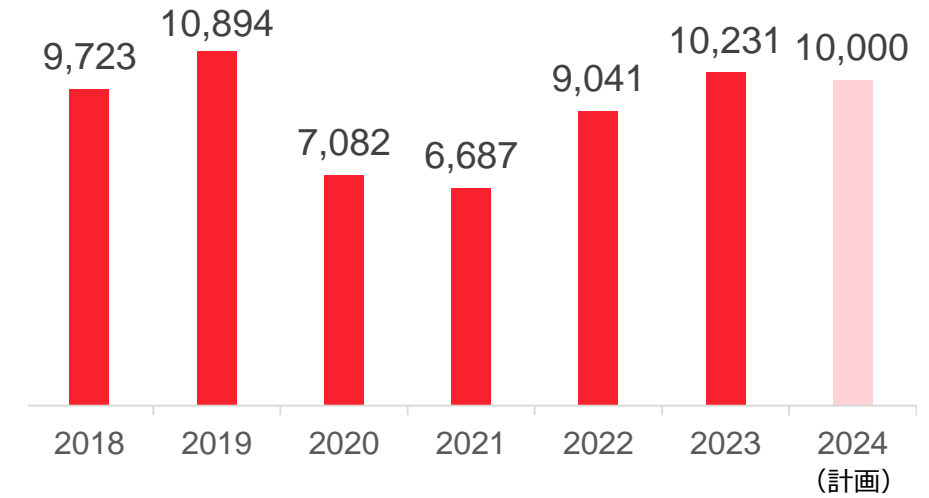
(百万円)

受注高



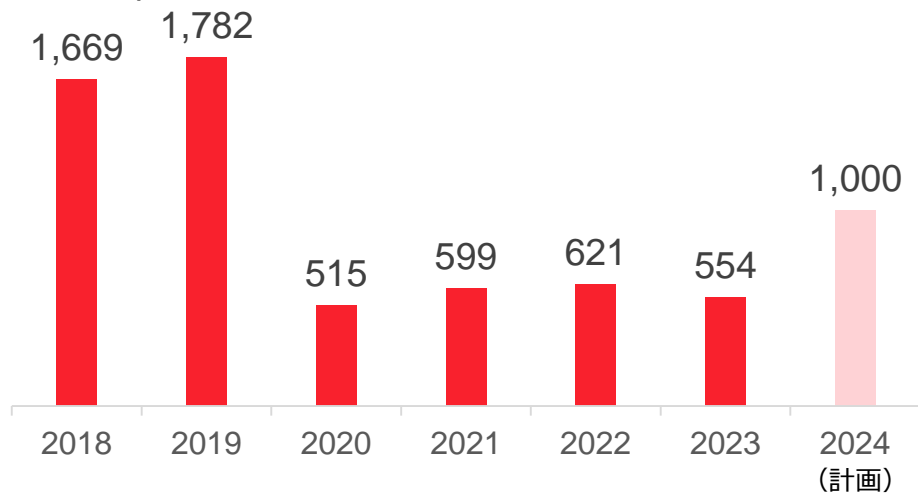
(百万円)

売上高



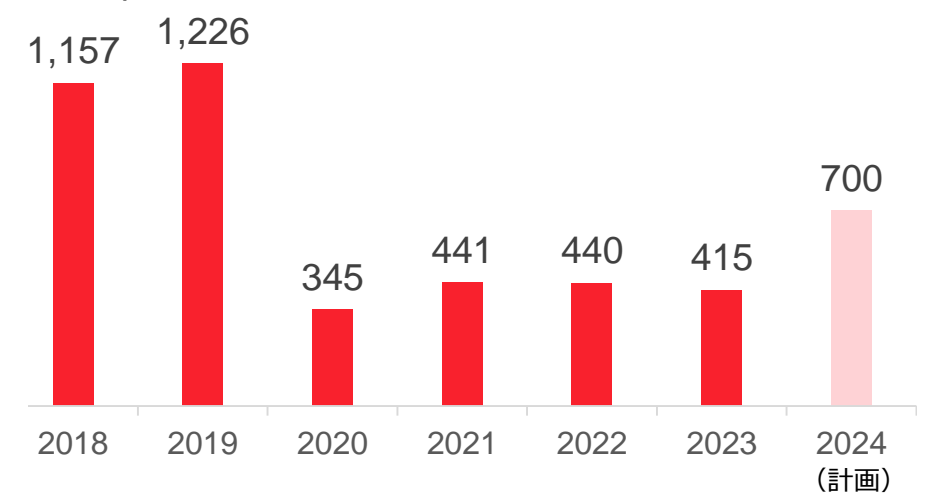
(百万円)

営業利益



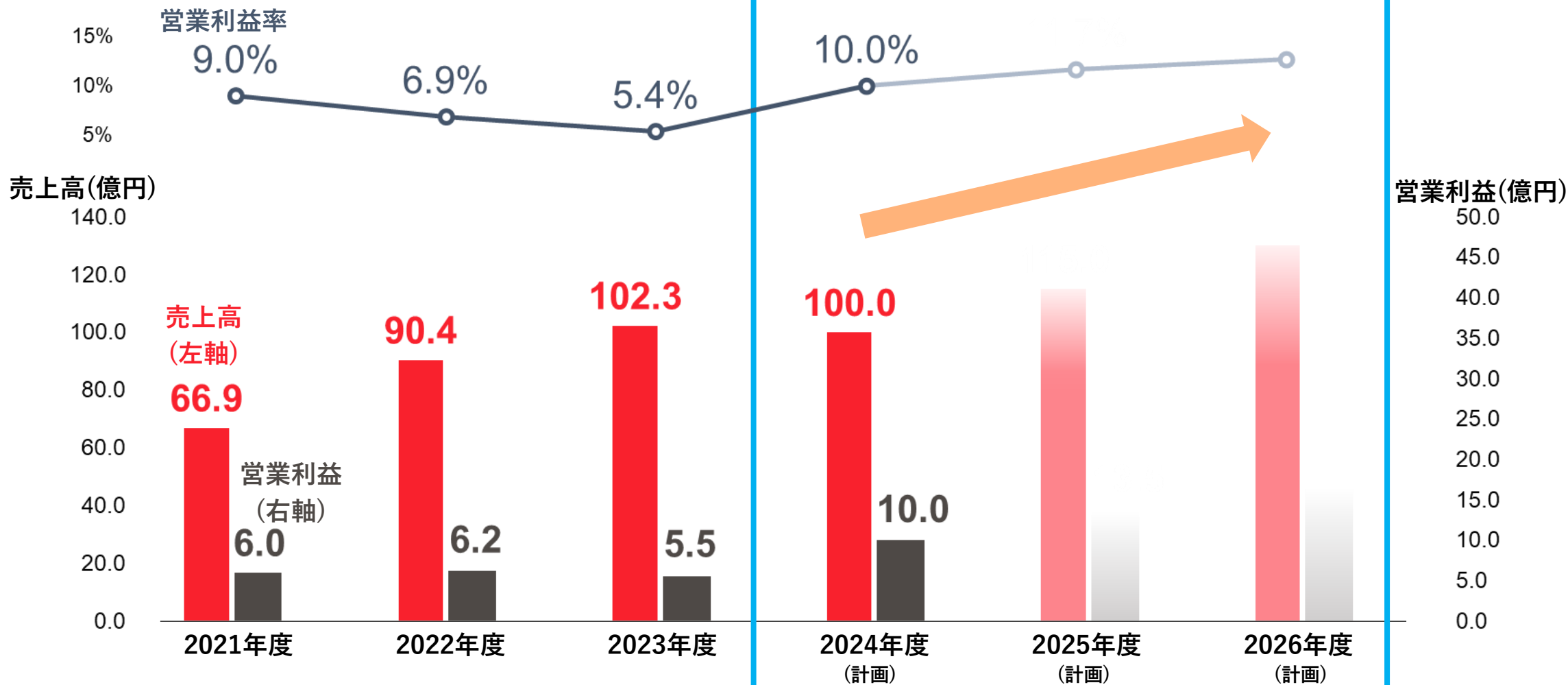
(百万円)

当期純利益



売上高100億円以上、営業利益率10%以上を継続し、増収増益を目指す

営業利益率



04 — 将来に向けた取り組み

Future Initiatives

研削盤No. 1メーカーを目指す



売上高

200億

過去最高
108億
(2019年度)



営業利益率

20%

過去最高
17.2%
(2018年度)



海外受注比率

50%

過去最高
44.9%
(2023年度)



ROE

15%

現在
6.0%
(2023年度)

経営目標達成に向けて施策を実施

1

人財の増強

2

海外販売の強化

地方の会社ではあるが東京圏に負けない待遇に改善
福利厚生や就業環境を向上させ社員のエンゲージメントを強化

新卒区分	2024年4月入社月給	社員 平均年齢・平均年収	福利厚生・就業環境の向上
修士了	258,000円	36.6歳 約674万円 (2023年度実績)	住宅手当 20,000/月
学部卒	250,000円		子女手当 20,000/子1人につき
専門・高専 等卒	242,000円		年間休日 122日
高校卒	234,000円		12時間インターバル制度
			① 出勤→退勤を12時間以内にする ② 退勤→出勤を12時間以上空ける

当社は **約37,500円多い**

東京都大学卒平均 ※1
212.5千円

※1 令和5年3月新規学校卒業者の求人初任給調査結果(東京労働局)より

当社は **約75万円多い**

東京都※2
42.6歳
約599万円


※2 令和4年賃金構造基本統計調査(厚生労働省)より当社算出

当社は **約7日多い**


東京都中小企業
平均年間休日数 ※3
115.1日

※3 令和5年版中小企業の賃金事情(東京都産業労働局)より
Copyright © 2024 TAIYO KOKI CO., LTD. All rights reserved.


海外駐在員を増員し、海外販売体制を更に強化

 **太陽工機 ヨーロッパ**

所在地：ドイツ・ビーレフェルト
人員：DMG森精機当社専任スタッフ**3名**
新駐在員2名（2024年1月,4月）

 **太陽工機 中国**

所在地：上海
人員：DMG森精機当社専任スタッフ**2名**
当社スタッフ**3名**

 **太陽工機 USA**

所在地：シカゴ
人員：DMG森精機当社専任スタッフ**1名**
当社スタッフ**3名**



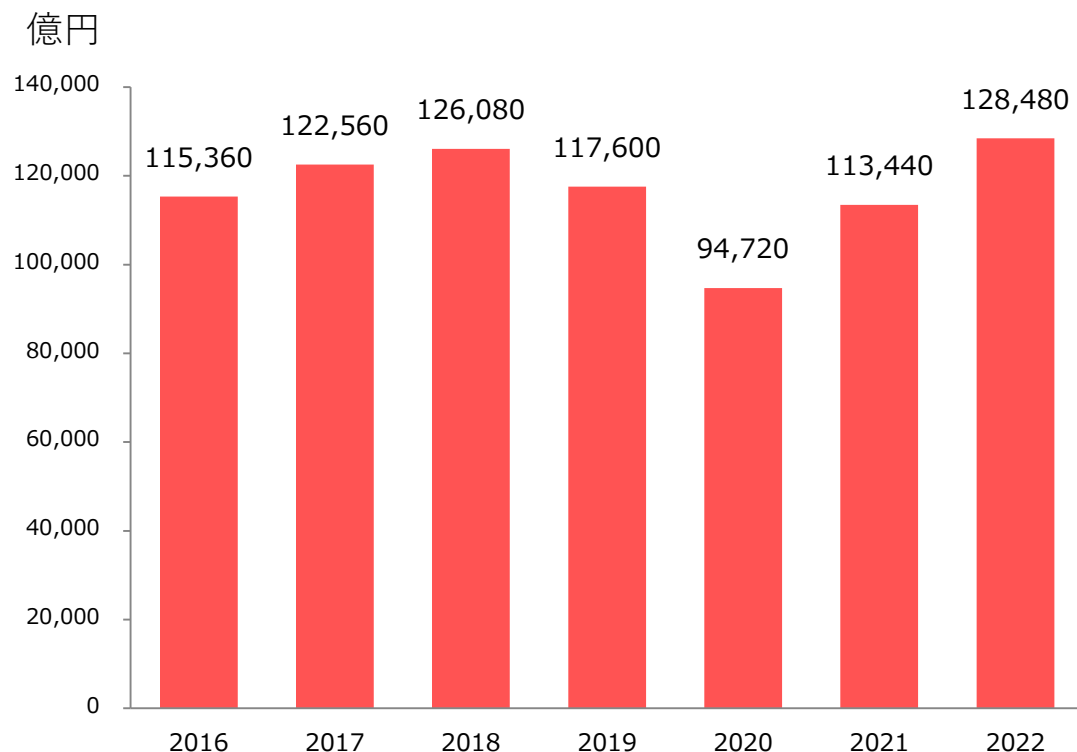
世界**113**拠点
販売対象**88**か国ネットワーク

当社海外セールス人材派遣
研削技術ノウハウ提供

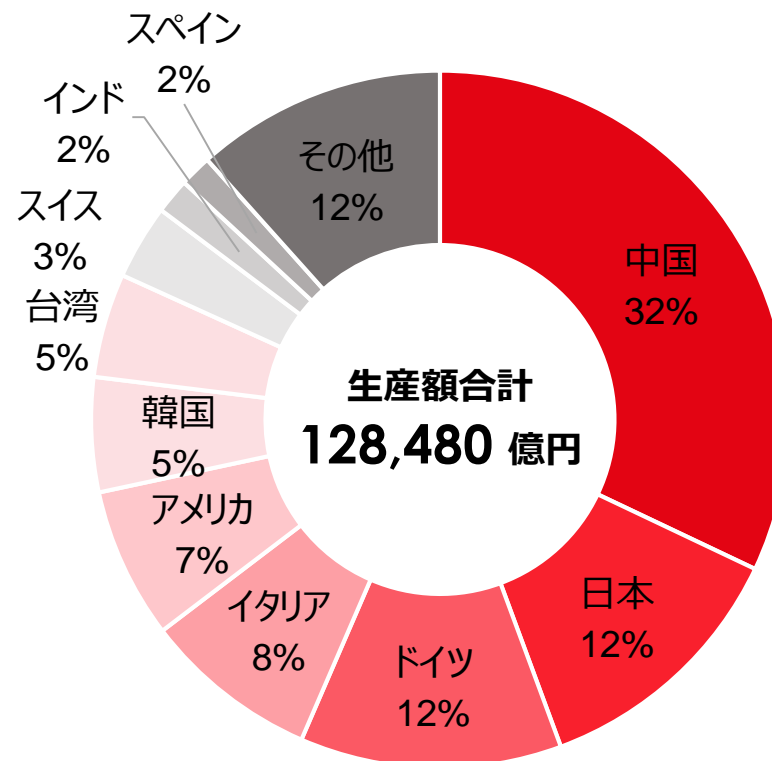


世界の工作機械の市場規模は13兆円弱

世界の工作機械生産量



工作機械の国別生産量 (2022年)



※1 VDW / Oxford Economics “VDW Market Report 2022” 及び日本工作機械工業会「工作機械機種別受注額(2022年確報)」をもとに当社推計。1€ = 160.0円にて換算。

※2 当社調べによる。

当社製品の市場規模は5,000～6,000億円を想定

日本の工作機械市場規模

約**1.4兆**円

※（社）日本工作機械工業会「工作機械主要統計」における、2020～2022年度の平均受注額



このうち当社製品が属する
研削盤市場は

4～5%程度 (※)

560億～700億円程度

※（社）日本工作機械工業会「工作機械主要統計」における「その他NC研削盤」と「NC円筒研削盤」の合計額が占める割合

世界の工作機械市場規模

約**13兆**円弱

※出所：VDW / Oxford Economics



研削盤市場の占める割合が
日本と同程度と想定した場合、
当社製品が属する世界市場規模は

5,000億円強～

6,000億円強 程度



当社がシェア獲得を図る市場

大きな市場である円筒研削盤を足掛かりに、立形研削盤を更に拡販

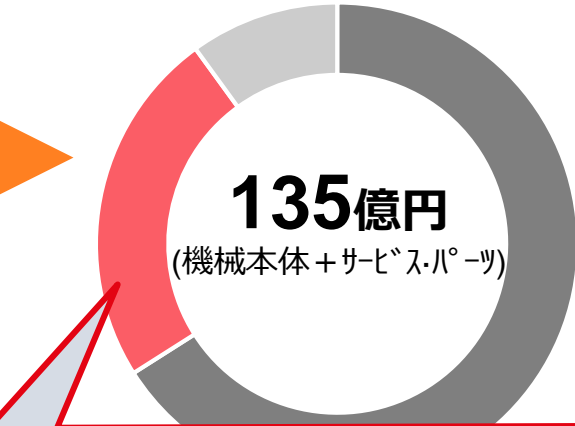
当社受注高(2023年)

当社受注高(2025年計画)

円筒研削盤

8.3%

約8億円



平面研削盤
約1,000億

世界の研削盤市場

約6,000億円^(※1)

20%

50%

30%

円筒研削盤を20.0%以上に拡大
海外市場で認知度を向上させ
立形研削盤の受注増を図る

その他研削盤 約3,000億
(うち立形研削盤 約600億)^{※2}

ボリュームゾーン
の拡販を図る



円筒研削盤
約2,000億をターゲット

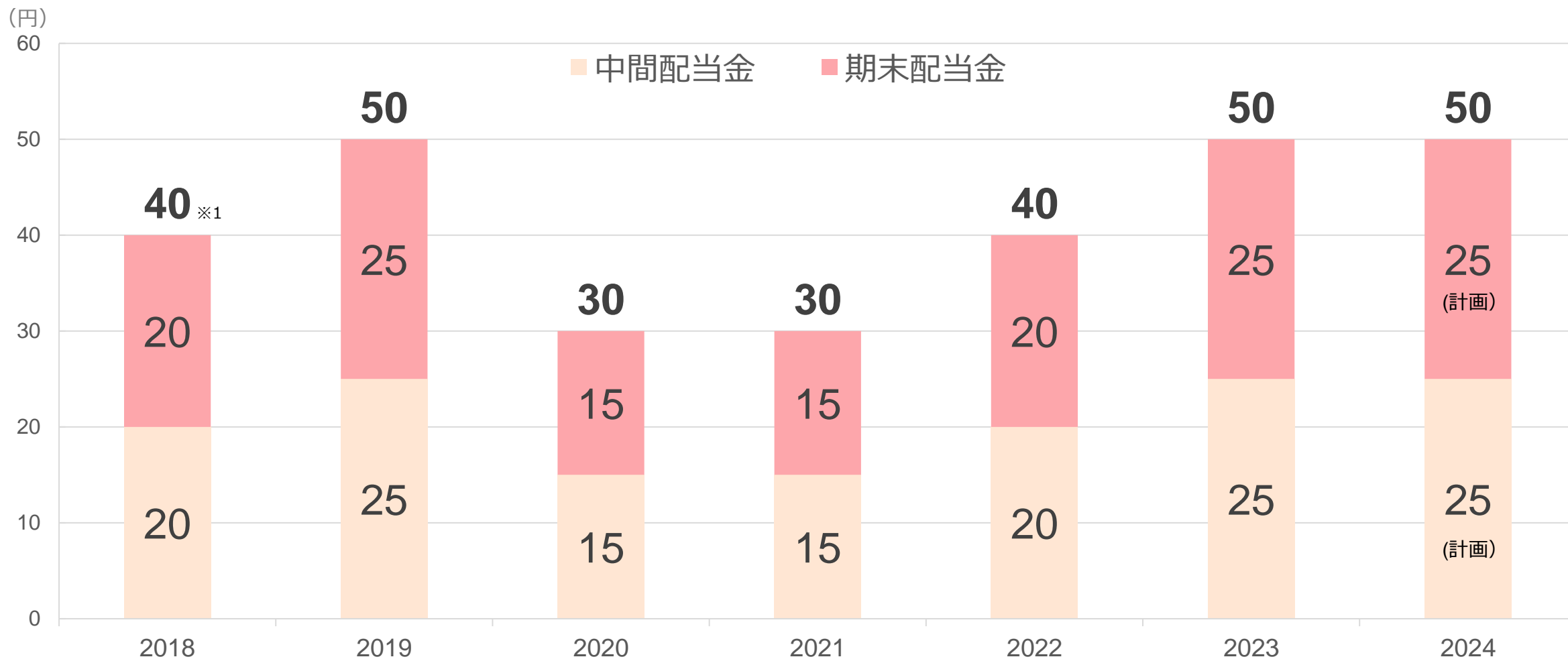
※1 VDW / Oxford Economics “VDW Market Report 2022” 及び日本工作機械工業会「工作機械機種別受注額(2022年確報)」をもとに当社推計。1€ = 160.0円にて換算。

※2 当社調べによる。

05 — 株主還元

Shareholder Returns

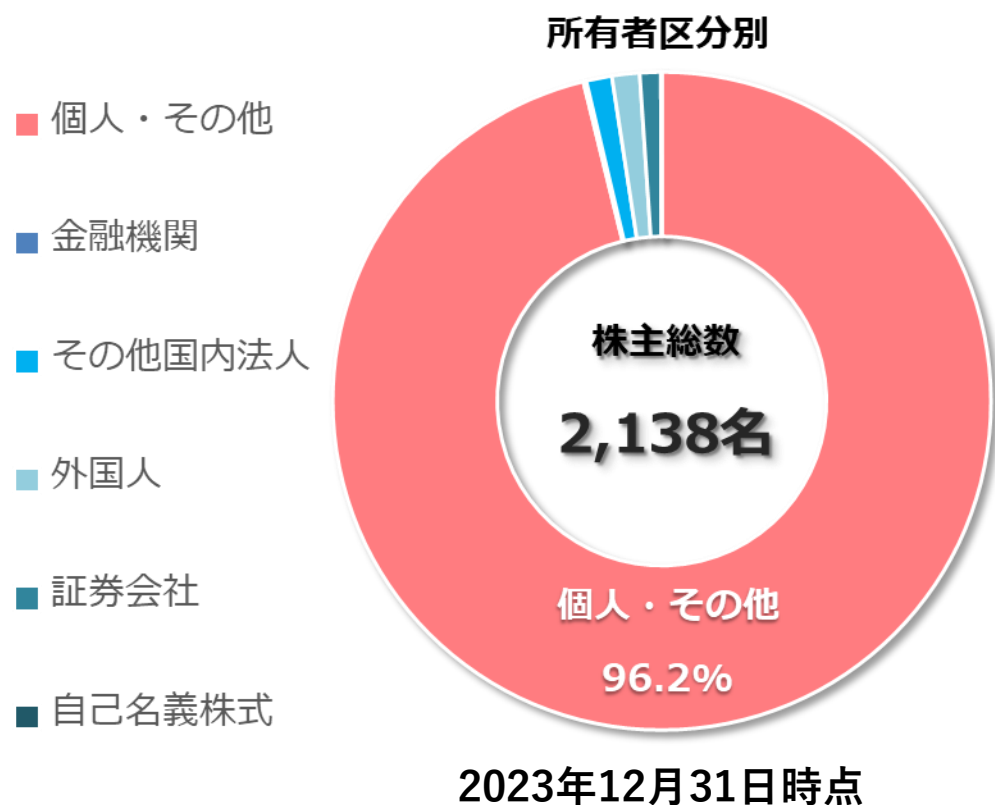
持続的かつ安定的な配当と、継続的な増配を行う方針



配当性向	20.4%	24.2%	51.6%	40.0%	53.3%	70.8%	42.0%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

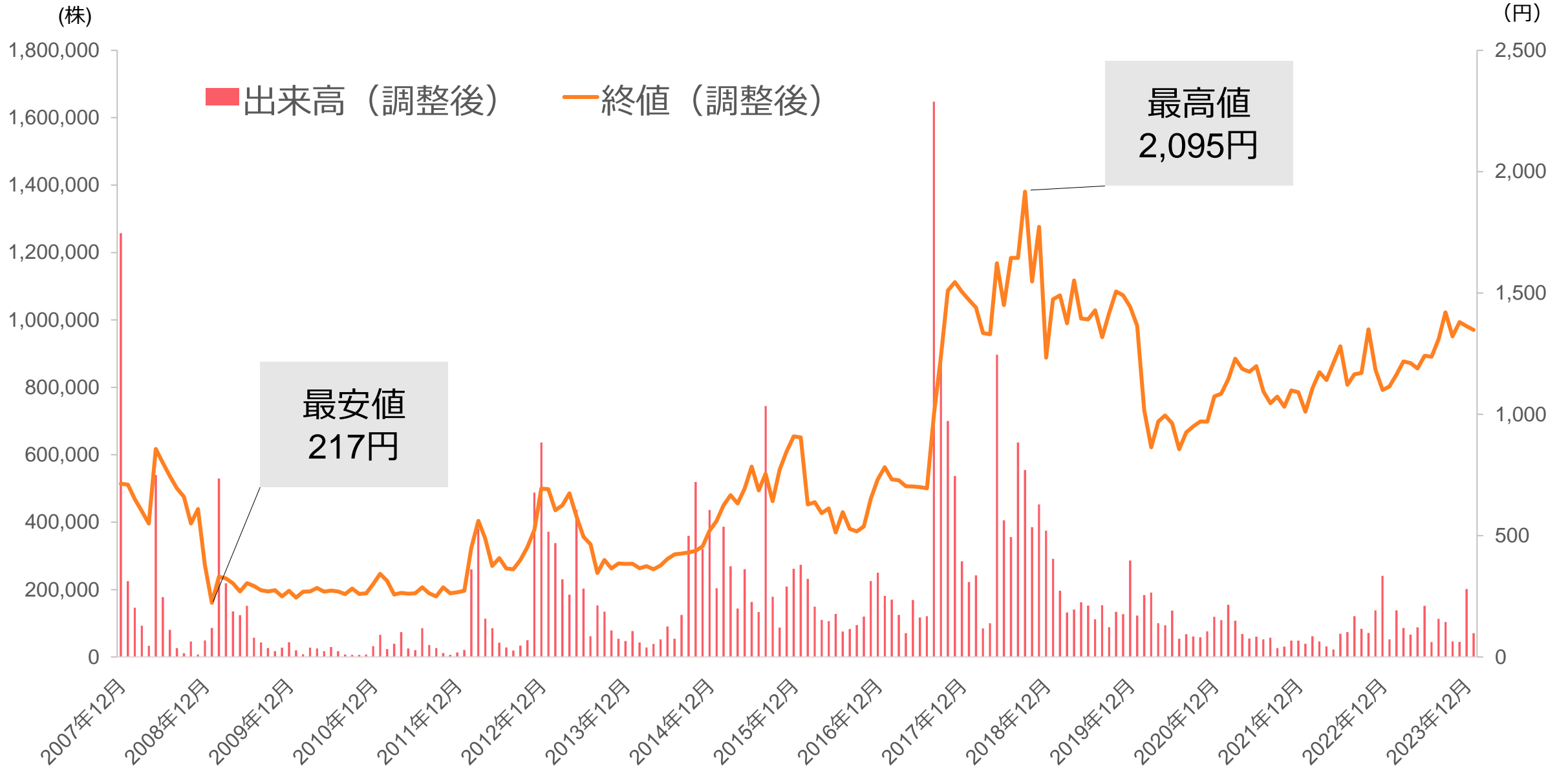
※1 株式分割調整後

個人株主が95%超を占め、関東一都三県で約30%を占める IR活動を通して、県内外への更なる認知度向上を図る



順位	都道府県	株主数
1位	新潟県	322名
2位	東京都	306名
3位	神奈川県	166名
4位	愛知県	129名
5位	大阪府	128名
6位	埼玉県	106名
7位	兵庫県	104名
8位	千葉県	98名

株価の推移



※株価については過去に株式分割を行ったと仮定しております。

長岡まつり大花火大会*
10年間にわたり当社超大型花火の打上げ



プロバスケットボールチーム
新潟アルビレックスBBとパートナー契約



学生ロボット競技団体の活動をサポート



*日本三大花火大会の一つ。写真は当社打上げ、ベスビアス超大型スターメイン『太陽の輝き』（2023年打上げ時）

TAIYO KOKI

証券コード：6164

IRに関するお問い合わせ先

株式会社太陽工機 経理財務部 IRチーム

TEL: 0258-42-8808 URL: www.taiyokoki.com



将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。